



パナソニックの環境経営

2020年7月6日

パナソニック株式会社

品質・環境本部

パナソニック環境ビジョン2050

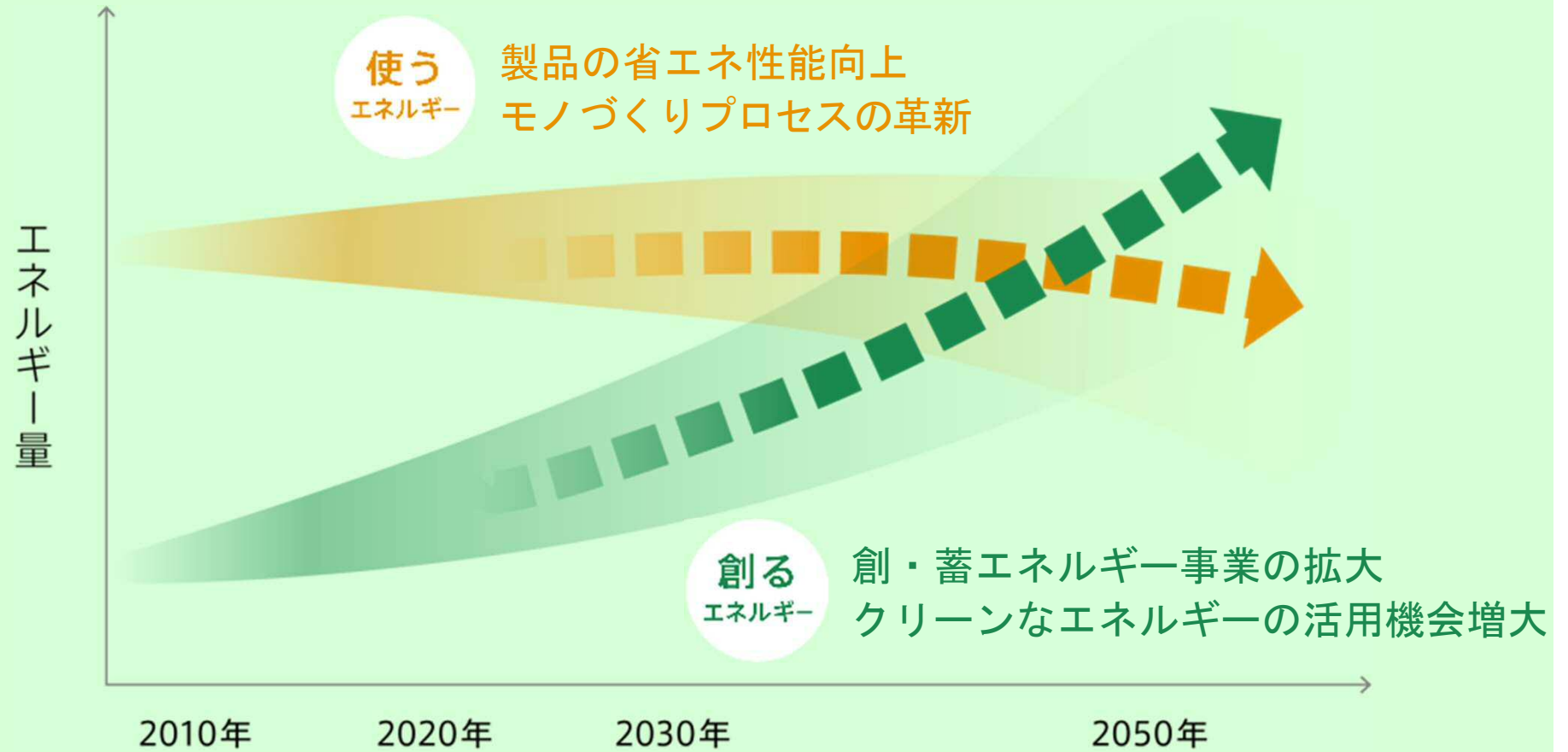
2017年6月策定

「より良い暮らし」と「持続可能な地球環境」の両立に向け、
クリーンなエネルギーでより良く快適にさせる社会を目指し、
パナソニックは使うエネルギーの削減と、
それを超えるエネルギーの創出・活用を進めます。

使うエネルギー < 創るエネルギー

**事業成長と一体化した
エネルギーにフォーカスした環境ビジョン**

環境ビジョン達成のイメージ



環境行動計画「グリーンプラン2021」

環境ビジョンの実現に向け、「エネルギー」と「資源」を重点課題として目標設定

課題		2021年度目標		
重点課題	エネルギー	使うエネルギー総量に対する創るエネルギー総量の比率拡大		
		使う : 創る = 8.5 : 1		
		製品・サービス	創るエネルギー量の拡大	創るエネルギー量 3万GWh以上
			使うエネルギーの削減貢献量の拡大	削減貢献量 直接 2.5万GWh以上 間接 0.2万GWh以上
			創るエネルギー事業の拡大	エナジー関連事業の拡大
			省エネルギー事業の拡大	IoT/AIを活用した製品・サービスの拡大
		工場	CO2ゼロモデル工場の推進	・水素応用技術実証工場の確立 ・グローバル各地域でCO2ゼロモデル工場を1工場以上実現
	再生可能エネルギー利用拡大		・自社拠点再エネ導入 40,000MWh ・再エネ外部調達推進	
	エネルギーミニムム生産の推進		・IoT活用によるロス削減 ・工法革新による生産性向上	
	資源	サーキュラーエコノミー型事業の創出	既存事業と循環経済の関連性マッピングの100%完了	
投入資源を減らし循環資源の活用を拡大		再生樹脂利用量 4.2万トン以上 (2019~2021年度累計)		
グローバルで工場廃棄物をゼロエミッション化		工場廃棄物リサイクル率 99%以上		
継続課題	水	生産活動での水使用量削減		
	化学物質	生産活動、製品での化学物質による環境負荷を最小化		
	生物多様性	持続可能な原材料調達を推進		
	地域社会	地域社会貢献および次世代育成の取り組みを推進		
	コンプライアンス	環境法規制の順守徹底		

RE100への加盟



2050年までに、使用する電力を100%再生可能エネルギーに切り替え、
CO₂排出ゼロのモノづくりを目指す

■ 加盟の目的

環境ビジョンの推進加速

事業活動における強みとする

■ 再生可能エネルギー100%実現に向けた取り組み

グリーンプラン2021

再生可能エネルギー利用拡大

自社拠点への再エネ導入

再エネ外部調達への推進



CO₂ゼロモデル工場の推進

水素応用技術実証工場の確立

グローバル各地域でCO₂ゼロ
モデル工場を1工場以上実現



さらに、地域特性に応じ、再生可能エネルギーを活用拡大

RE100と環境ビジョンとの関係

○RE100参加は環境ビジョン推進を加速するための取り組み

○進め方は環境ビジョン実現のための現状の計画（GP2021）に包含されている

パナソニック環境ビジョン2050

「より良い暮らし」と「持続可能な地球環境」の両立に向け、
クリーンなエネルギーでより良く快適にさせる社会を目指し、
パナソニックは使うエネルギーの削減と、
それを越えるエネルギーの創出・活用を進めます。

使うエネルギー < 創るエネルギー

Panasonic

実現に向けた2つの取り組み

クリーンなエネルギーで安心してくらす社会をつくります

エコでスマートな生活空間の提供

エコでスマートな移動・輸送への貢献

持続可能な社会を目指した事業推進をします

資源の有効活用の促進

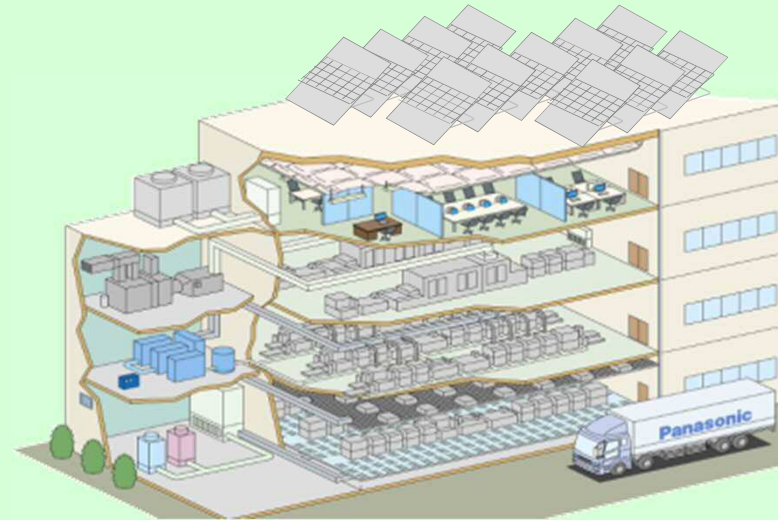
CO₂ゼロの工場づくりの推進

～持続可能な事業推進のためには化石燃料に頼らないエネルギー使用が重要～

持続可能な社会を目指した事業推進



CO₂ゼロの工場づくりの推進



照明のLED化[※]
(2018年度完了予定)

太陽光発電システムの導入[※]
(2020年度完了予定)

先進的な省エネ技術の活用
(FEMS技術など)

蓄エネルギー機器の活用
(次世代蓄電池など)

革新的なモノづくり
(スマート・マニュファクチャリングなど)

クリーンなエネルギーの利用拡大
(再エネ由来電力の活用など)

※導入可能な事業場

CO₂ゼロ工場の推進



- 日本・ベルギー・ブラジルで、CO₂ゼロ工場を実現（2018年度）
- コスタリカでグループ4社目のCO₂ゼロ工場を実現（2019年度）

 **パナソニック エコテクノロジーセンター (PETEC)**

- PV
- LED
- 再エネ由来電力
- クレジットでオフセット



 **パナソニック セントロアメリカーナ (PCA)**

- PV400pcs
- 再エネ由来電力
- LED
- クレジットでオフセット予定

0%
Pb Hg Cd
LEAD MERCURY CADMIUM
ADDED



 **パナソニック エナジーベルギー (PECBE)**

- 風力発電システム
- 再エネ由来電力
- クレジットでオフセット



 **パナソニック ブラジル (PANABRAS)**

サンジョゼ、マナウス、エストレマの全3工場

- 再エネ由来電力
- クレジットでオフセット





Panasonic

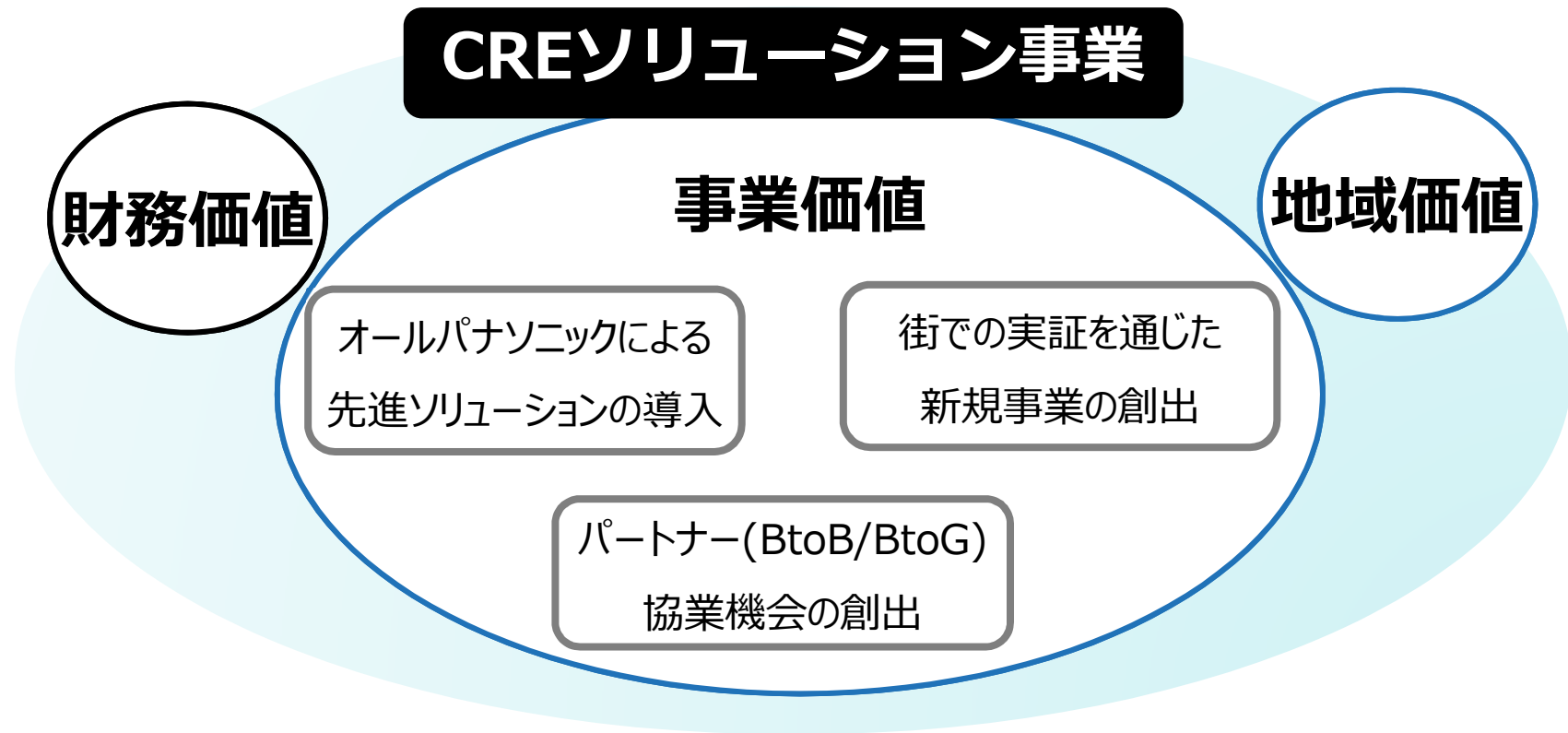
パナソニックのサステイナブル・スマートタウン 取り組みについて

2020年7月6日

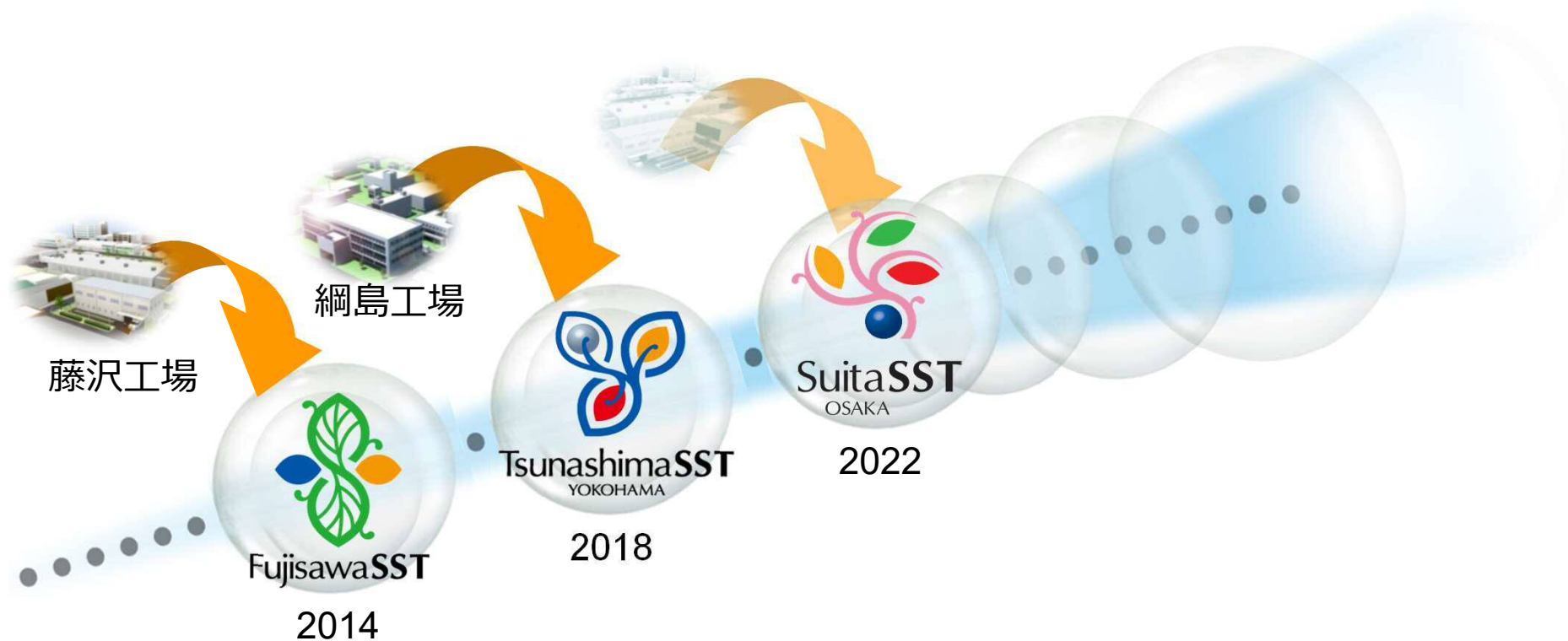
パナソニック株式会社
ビジネスソリューション本部 CRE事業推進部

自社CREの強みを活用しパートナーと共創のまちづくりを進めることで、新しい価値を創出

※CRE : Corporate Real Estate 企業不動産



当社工場跡地でサステイナブル・スマートタウンを開発

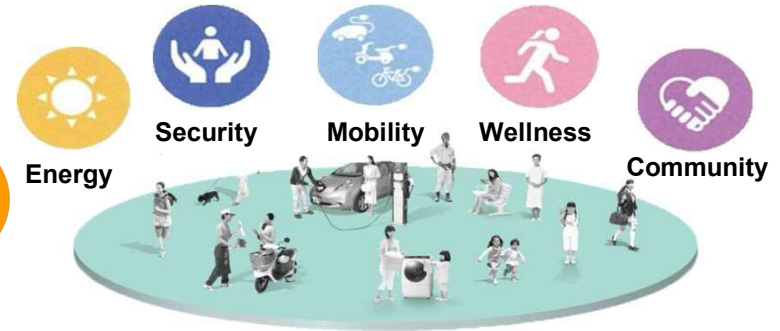


『暮らしに密着したものづくり(メーカー)』から
『暮らし起点のまちづくり』へ

くらし発想によるサービスでサステイナブル & スマートライフを実現



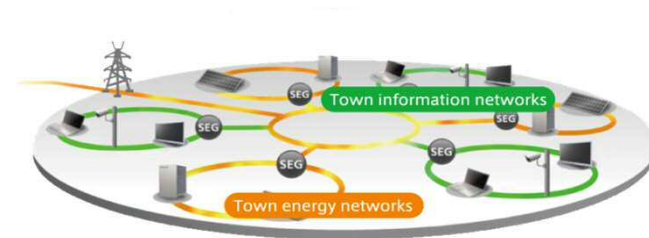
スマートライフ提案



スマート空間設計



スマートインフラ構築





住宅を中心とした郊外型複合スマートタウン 開発進捗 80% 現在1,500名超が住む実稼働の街



- 所在地:神奈川県藤沢市
- 全体敷地面積:19ha
- 主な施設概要(予定含む)
 - ・戸建住宅 600戸
 - ・集合住宅 400戸
 - ・商業施設:湘南T-SITE
 - ・健康・福祉・教育施設 Wellness SQUARE
 - ・物流施設 Next Delivery SQUARE

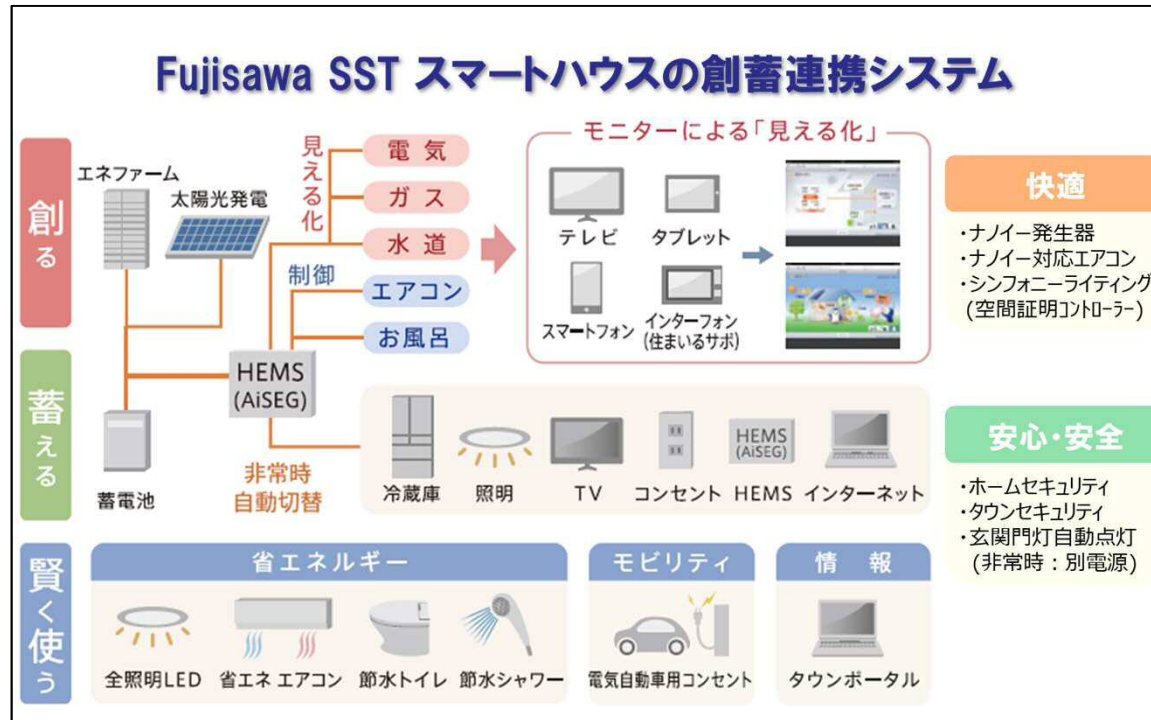
2007年 土地活用検討開始、2014年まちびらき
2022年 まちの完成 (予定)

●協議会会員一覧:

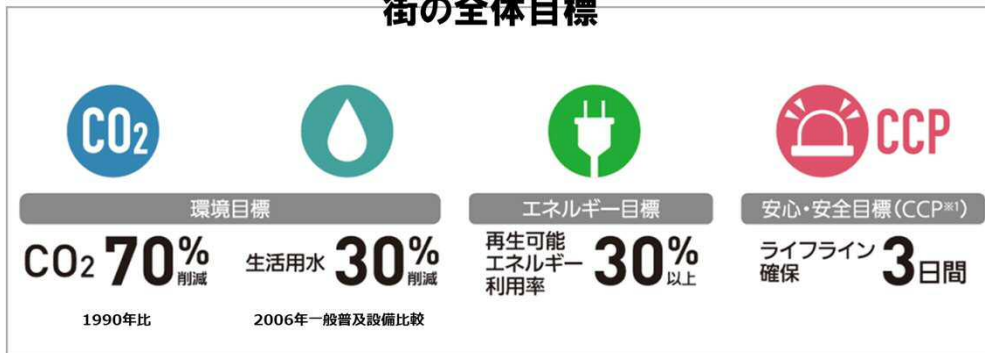
パナソニック(代表幹事)、学研ホールディングス・学研ココファン、カルチャ・コンビニエンス・クラブ
湖山医療福祉グループ、電通、東京ガス、パナソニックホームズ、NTT東日本、三井住友信託銀行、三井物産、
三井不動産・三井不動産レジデンシャル、ヤマト運輸、アインファーマシーズ、アクセンチュア、
サンオータス、ALSOK

18団体

[アドバイザー]藤沢市、日本設計、慶應義塾大学(SFC)、
東京電力エナジーパートナー、FujisawaSSTマネジメント



街の全体目標

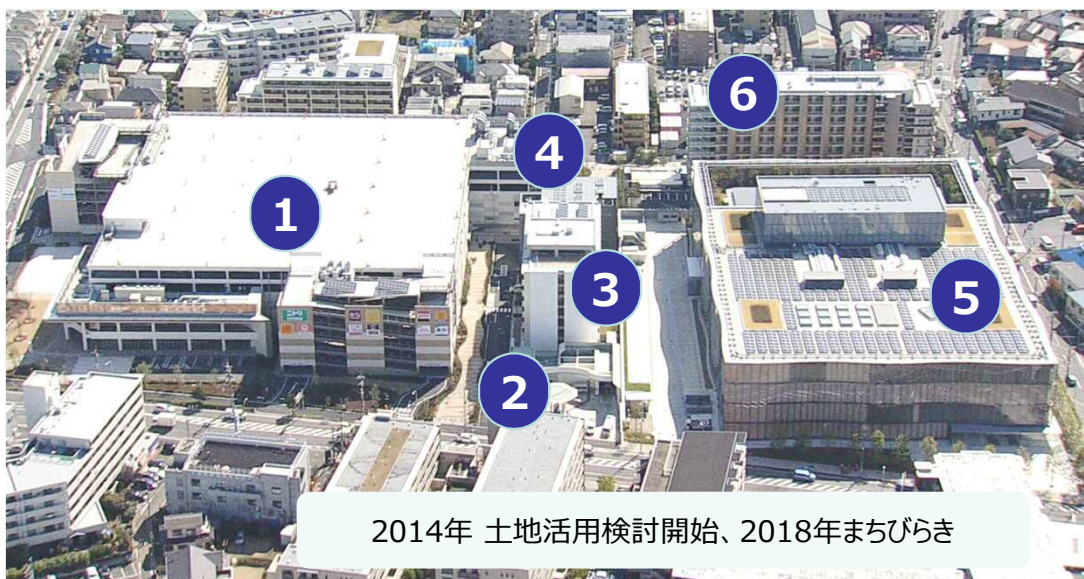


平常時は再生可能エネルギー活用として、非常時は地域へ電源開放





多用途施設が連携した都市型スマートタウン



2014年 土地活用検討開始、2018年まちびらき

●所在地:神奈川県横浜市

●全体敷地面積:3.8ha

●主な施設概要

①商業施設(アピタテラス)・

②水素ステーション (ショールーム併設)

③国際学生寮 ・タウンイノベーションセンター

④タウンエネルギーセンター

⑤技術開発施設

⑥集合住宅(94戸)

●協議会会員一覧：

パナソニック(代表幹事)、野村不動産(代表幹事)、関電不動産開発、パナソニック ホームズ、ユニー、Apple、JXTGエネルギー、慶應義塾大学、ALSOK、サンオータス、本田技研工業、大林組

12団体

[オブザーバー]横浜市

※2018年4月より運営フェーズ移行によりパナソニックを核に上記のうち8団体で体制を構築・運営を推進中

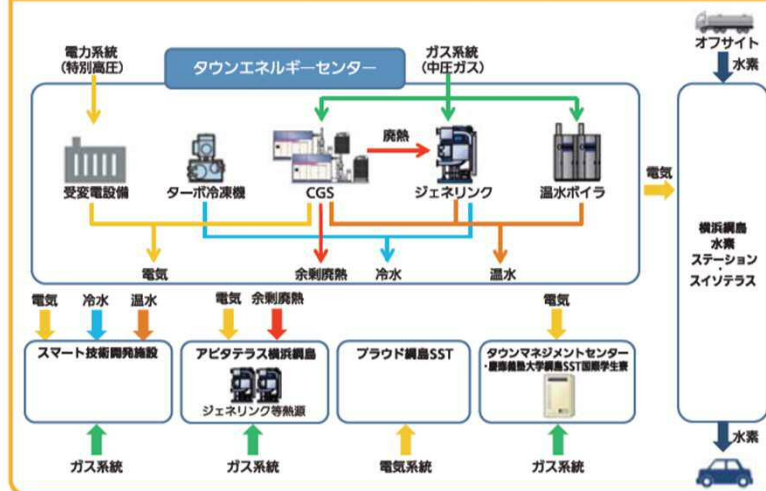


Energy

多様なエネルギーをいつでも買け分け合うまち

- さまざまなエネルギー源をまち全体で最適化するエネマネ (エネルギーセンターから電力・熱一括供給)
- SCIMを使ったまち全体でのエネルギー見える化/ モニタリング
- 水素をはじめとしたクリーンな新エネルギーの積極活用
- 各施設の先進的な創・蓄・省エネシステム
- 節水機器や雨水利用による省資源 (環境への配慮)
- 非常時における必要最小限の電力と熱と水の供給

タウンエネルギーセンターと横浜綱島水素ステーション



横浜綱島水素ステーション

- 2017年3月1日営業開始

開所式の様子



HONDA

水素PR拠点「スイゾテラス」

- 2017年3月15日開所



スイゾテラス1階の展示

一般公開時間
 火曜日、木曜日
 13:00~16:00
 土曜日
 10:00~16:00



スイゾテラス2階のシアター

ホンダ “日本初”FCVカーシェアを導入

ホンダ カーシェアサービス

運営	株式会社ホンダカーズ横浜
車種	①CLARITY (FCV) ②CR-V (HEV)
場所	綱島SST イノベーションスタジオ前駐車場 (2台)
料金	8時間 5,780円~

CLARITY (FCV)



CR-V (HEV)



水素で作った電気で走るクルマが
綱島に登場!
 2019.6.3 START

休日家族でかけあふ!

アビタテラス 横浜綱島
 SST 国際学生寮

クラリティ FUEL CELL



超高齢社会の課題を先取りする、 多世代共生型の健康スマートタウン



●所在地:大阪府吹田市

●全体敷地面積:2.3ha

●主な施設概要

①ファミリー分譲マンション(100戸)

②シニア分譲マンション(126戸)

③単身者共同住宅(73戸)

④ウェルネス複合施設

(サ高住66戸・認知症グループホーム、保育所、学習塾 他)

⑤複合商業施設

⑥交流公園

●まちづくりパートナー(一覧) :

パナソニック

パナソニック ホームズ、大阪ガス、関西電力、学研ココファン、積水化学工業、総合警備保障、竹中工務店、中銀インテグレーション、阪急オアシス、西日本電信電話、西日本旅客鉄道、JR西日本不動産開発、三井住友信託銀行、吹田市

サステイナブル・スマートタウンで構築した多様なソリューションを、
カンパニー連携により、様々なまちづくりへ提案・展開



Suita SSTにおいて、関西電力グループはパナソニック株式会社と協力し、街区全体の消費電力を実質再生可能エネルギー100%※¹で賄うことで、Suita SSTを**日本初**※²の「**再エネ100タウン**」とすることを目指します。



Suita SSTのエネルギーシステムは、平常時は再エネ100タウン、非常時はエネルギーレジリエスタウンとして環境性と防災性を両立します。

Suita SST エネルギーコンセプト

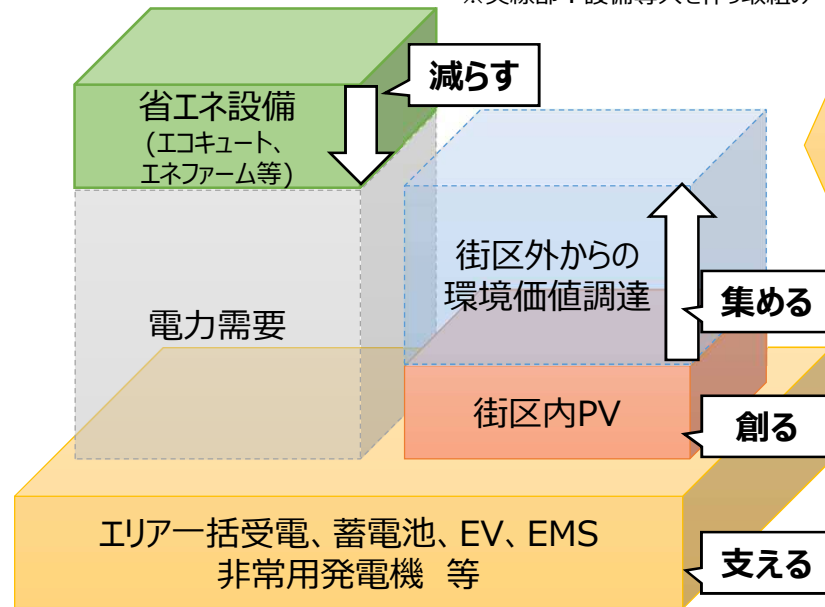


再生可能エネルギーを最大限活用し、
いざという時も機能しつづけるまち

<平常時：再エネ100タウン>

「減らす」「創る」「集める」と「支える」取組みにより、商業施設を含む複合開発街区全体の消費電力を実質再生可能エネルギー100%とする「日本初」の取組みモデルを確立。

※実線部：設備導入を伴う取組み



<非常時：エネルギーレジリエスタウン>

“再エネ100タウン”に向け設置した設備を非常時にも有効活用し、災害時に(3日間)自立給電できる仕組みを具備。周辺住民へもエネルギー供給を行い、地域全体のレジリエンス向上にも資するモデルを確立。

